

- (補助先) 県内病院
(補助率) 1/2 以内
(基準額) 1 病院あたり 11,140 千円

(3) 県負担・補助率の考え方

事業費全額について地域医療介護総合確保基金を充当

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	45,487	復職研修や就労環境改善のための人件費 代替職員派遣旅費 学童保育消耗品 代務職員雇用のための備品管理
合計	45,487	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想
第7期岐阜県保健医療計画

(2) 国・他県の状況

従来の国の医療提供体制推進事業費補助金における「女性医師等就労支援事業」から、地域医療介護総合確保基金を活用した事業へ移行

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

女性医師等の再就業が困難な状況の大きな要因として、就学前の乳幼児の子育て、配偶者の転勤、日進月歩で進む医療現場に戻りづらい等の理由が挙げられている。

そのため、病院における仕事と家庭の両立ができる働きやすい職場環境の整備を行い、女性医師等の離職防止や再就業の促進を図り、もって医師確保に資することを目的とする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2 年度	R3 年度	R4 年度	終期目標	達成率
	(R)	実績	目標	目標	(R)	
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

仕事と家庭の両立ができる働きやすい職場環境を整備する取り組みを補助対象としており、各病院の女性医師等の就労環境が異なるため、事業の執行にあたっての指標を設定することができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 県内の病院に事業照会を行った結果、17病院より事業実施の希望があり、交付決定している。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
令和5年度	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和6年度	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>病院における仕事と家庭の両立ができる働きやすい職場環境の整備を行い、女性医師等の離職防止や再就業の促進を図り、医師確保に繋がるため、事業の必要性は高い。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 3	<p>平成22年度の病院に始まり、年々交付申請病院数は増えており、職場環境改善の必要性が徐々に認識され、実際に取り組む病院が増えている。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	<p>事業執行にあたっては、毎年、県内全病院に事業の周知を行うとともに、本事業による支援の希望を募っている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>岐阜県の医療施設従事医師数における女性医師の割合は、全国平均に比べ下回っている（平成30年度「医師・歯科医師・薬剤師調査」（厚生労働省））ため、本県では女性医師が活躍する場はまだ十分にある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>仕事と家庭の両立ができる働きやすい職場環境の整備を行い、女性医師等の離職防止を図るため、着実に本事業を実施していく必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	